

おもい
想いの
未来を
描こう

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
弘前大学との地域づくり連携事業

地域未来創生塾 @中央公民館

参加
無料
お申込み不要

日程: **令和3年10月13日(水)**から**令和4年2月24日(木)**の
期間の**第2**および**第4水曜日**(全10回・第10回のみ第4木曜日)

時間: **18:30~20:00** 対象: **弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方**

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために基本的にZoomによるオンライン授業の形式で行います。また、ヒロコ3階多世代交流室2にてパブリックビューイングも実施いたします。



zoom

[ミーティングID] **248 186 4809** [パスワード] **393198**

QRコードで
参加▷



パブリックビューイング会場: **ヒロコ3階多世代交流室2** ※第1回のみ**ヒロコ4階弘前市民文化交流館ホール** (弘前市駅前町9-20)

※全10回のうち6回ご参加の方には修了証を授与します。最新情報については、チラシ配布および地域未来創生センターホームページに掲載します。
主催:弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 共催:弘前市教育委員会(中央公民館) 後援:弘前市・東奥日報社・陸奥新報社

お問合せ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター ☎0172-39-3198(平日9:15~17:00)
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

「地域未来創生塾@中央公民館」

目的

「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策・地域の防災・減災などを模索するために、地域のみなさまと弘前大学人文社会科学部の教員が、講義形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。



年間計画

第1回	令和3年10月13日(水)	文化財の価値を引き出し活かす	講師:人文社会科学部教授 関根達人(専門:考古学) 内容:令和3年度、弘前市では久渡寺の円山応挙筆「返魂香之図」と山観普門院本堂が新たに文化財に指定されました。前者は国内唯一の応挙真筆の「幽霊画」です。どちらも指定に前後して行われた調査で、今後の活用の方向性につながる新たな発見がありました。文化財による地域創生についてお話しします。
第2回	令和3年10月27日(水)	現代アートで街づくり-アートを語ろう!	講師:人文社会科学部教授 宮坂 朋(専門:西洋考古学) 内容:青森県では、現代アートで街づくりが進んでいます。興味深い現代アートですが、どのように觀賞したらいいのでしょうか?古代から続く美術と関係があるのか?アート作品をより深く理解するための第1章です。
第3回	令和3年11月10日(水)	ハラスメント問題を法的に考える	講師:人文社会科学部助教 洪田美羽(専門:労働法) 内容:近年ますます注目される職場における「ハラスメント」問題。誰もがその被害者、加害者になる可能性を秘めています。自身や家族、友人をハラスメントから守るために、加害者にならないために、立法の状況や裁判例の動向を踏まえつつ、ハラスメント問題を法的な視点から考えてみましょう。
第4回	令和3年11月24日(水)	同じ様なことをしているはずなのに結果で違いが生まれるのはなぜ:戦略論的に考える	講師:人文社会科学部准教授 高島克史(専門:経営管理論) 内容:同じような製品を製造販売しているにもかかわらず、成果では違いが生まれるという現象は様々な業界で観ることができます。本講義では、同じようなことをしているのに成果では違いが生まれるのはなぜか、このような違いを生む原因は何か、経営学(経営戦略論)の知見をもとに考えてみたいと思います。
第5回	令和3年12月 8日(水)	仏像の調査と修理-地域文化資源を守る取り組み-	講師:人文社会科学部助教 佐々木あすか(専門:芸術史、日本美術史) 内容:近年、仏像や絵画といった文化財の修理について、新聞などで紹介される機会も増えてきました。また、さまざまな目的でおこなわれる文化財の調査は、どのような役割を持っているのでしょうか。仏像の調査や修理の事例を紹介することで、地域の文化資源をどのように守り伝えていくのか考えてみたいと思います。
第6回	令和3年12月22日(水)	地方都市の感染症対策行動	講師:人文社会科学部准教授 日比野愛子(専門:社会心理学) 内容:感染症対策は、今後地域社会の重要な課題となりそうです。しかし大都市圏と地方では人々の危機感や行動変容の性質も異なると考えられます。2020年12月に青森県と東京都で行った感染症行動に関する質問紙調査の結果から、感染症問題にしなやかに耐えるヒントを見つけたいと思います。
第7回	令和4年 1月12日(水)	新しいメディアとの付き合い方-歴史学から考える-	講師:人文社会科学部助教 永本哲也(専門:歴史学) 内容:現代は、インターネットやSNSなど新しいメディアが次々と生まれる時代です。こうした急激なメディア環境の変化にどう対応すれば良いのでしょうか?人類史最大級のメディア革命を引き起こした活版印刷術を、16世紀ヨーロッパの人びとがいかにかに活用したかを知ることで、新しいメディアとの付き合い方を考えてみます。
第8回	令和4年 1月26日(水)	若者の恋愛・性行動-少子化の要因を根元から考える-	講師:人文社会科学部教授 羽瀧一代(専門:社会学) 内容:日本の人口減少と関わる少子化はこれまで様々な要因が指摘されてきました。これらの指摘から20年以上経過していますが、有効な対策はありませんでした。それは出生が性行動(それに伴う恋愛や結婚)というプライベートな問題と直接関わっているからです。あらためて、日本の若者の性行動や恋愛について社会的に確認してみたいと思います。
第9回	令和4年 2月 9日(水)	企業活動と環境問題	講師:人文社会科学部准教授 内藤周子(専門:会計学) 内容:企業は、社会的責任を担う一方で、ビジネスを通じて社会課題の解決に貢献できる側面もあります。企業のサステナビリティにかかわる活動の情報は中長期的な視点で企業価値を評価する際に役立つとされています。企業活動の情報開示と環境問題についてお話しします。
第10回	令和4年 2月24日(木)	フリーソフト、オープンデータを用いた弘前市の現状分析の事例紹介	講師:人文社会科学部教授 増山 篤(専門:地理情報科学) 内容:近年、地域の現状を分析・可視化することができ、かつ、金銭的なコストを一切伴うことなく利用可能なソフトウェアやデータが非常に充実してきています。この講義では、学生たちがそうしたソフトウェアやデータを活用し、弘前市の現状を分析した事例を紹介します。



お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 TEL 0172-39-3198 (平日9:15~17:00)

E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>